

お子さまランチコンテスト

決勝進出20組決まる

小学生が2人一組で

ランチや弁当のアイデア、調理技術を競つ「第11回バローお子さまランチコンテスト」(岐阜新聞社、岐阜放送主催、バロー特別協賛)の書類審査が、岐阜市太郎丸の岐阜女子大で行われ、決勝に進む20組が決まった。

食への知識を深め、健全な食生活を実践してもらおうと開催。今回は県内外の88組176人から応募があった。審査委員長を務める料理人森野熊八さんのほか、バロー販売促進部の小野浩一郎長代で放送する。

理、同大健康栄養学科の水野幸子教授ら6人が、写真やイラストを添えたレシピを審査。発想の子どもらしさ、季節感、県産食材の取り入れ方、味のバランスなどで評価した。

決勝大会は8月26日に同大であり、実技審査を行う。大会の様子は9月23日午後6時から、ぎふチャンネルテレビで放送する。

小学生が2人一組でランチや弁当のアイデア、調理技術を競つ「第11回バローお子さまランチコンテスト」(岐阜新聞社、岐阜放送主催、バロー特別協賛)の書類審査が、岐阜市太郎丸の岐阜女子大で行われ、決勝に進む20組が決まった。

食への知識を深め、健全な食生活を実践してもらおうと開催。今回は県内外の88組176人から応募があった。審査委員長を務める料理人森野熊八さんのほか、バロー販売促進部の小野浩一郎長代で放送する。